

IGA 2003
R O S T O C K

2003年 ロストック国際園芸博覧会
日本国出展日本庭園報告書



出展日本庭園 庭門



竹取物語絵巻（諏訪市博物館所蔵）

財団法人 都市緑化基金

目 次

序	1
記録写真	4
IGA2003の概要	9
日本国の参加	10
出展日本庭園	11
庭園計画	11
庭園工事	13
維持管理	13
行催事	14
日本庭園開園式典	14
開幕	14
ジャパンデー	15
閉幕	17
閉幕後の庭園	17

庭園の解説	18
展示解説	18
解説パンフレット・解説板	18
国際庭園コンテスト	19
ロストック市長からのお礼	20
ホームページでの紹介	20
日本国出展の効果	21
日本庭園出展の経緯	22
事業収支	22
IGA ROSTOCK 2003 日本庭園出展委員会	23

序

IGAロストック2003への日本国政府出展

参議院議員(前 国土交通大臣政務官) 岩城光英

日本国政府は、過去海外で開催された国際園芸博覧会に、1984年 イギリス リバプール、1992年 オランダ ハーグ・ズータメア(フロリアード1992)、1993年 ドイツ シュトゥットガルト(IGA1993)、1999年 中国 昆明、2002年 オランダ ハールレマミア(フロリアード2002)と参加し、93年のシュトゥットガルトを除く博覧会に、日本庭園を出展してまいりました。

この度のドイツ連邦共和国ロストック市で開催された、国際園芸博覧会(IGAロストック2003)での日本庭園の出展は、国土交通省が、静岡県、(財)静岡国際園芸博覧会、(財)国際花と緑の博覧会記念協会、(社)日本公園緑地協会、(財)公園緑地管理財団並びに(財)都市緑化基金の6つの団体の協力を得て、約500m²の坪庭形式の日本庭園を出展したものです。

出展した日本庭園は、我が国の伝統的な造園技術を駆使し、日本で初めての物語と言われる「竹取物語」を庭園デザインのモチーフとし、世界に誇る日本庭園を展示だけでなく、出展した庭園を通じて日本人が持っている世界観や自然観など、日本人の心もあわせて伝えようとしたものです。

また、私も国土交通省を代表して参加させていただいた同年8月の「ジャパンデー」では、IGA会場の屋外大ステージ「パークステージ」を使い、庭園のモチーフとした「竹取物語」を、日本の伝統的な芸能である「尺八」「琴」「地唄舞」であらわし、地元ドイツの国民やヨーロッパ諸国からの多くの来場者にご披露し、大きな感動を与えることができました。

さらに、22の国々が参加した国際庭園コンテストでは、日本庭園は評価得点第1位の「金賞」を受賞し、我が国の園芸及び造園技術の高さを内外にアピールするものとなりました。

この度のロストック国際園芸博覧会の成功は、「我が国の世界に誇り得る園芸及び造園技術を紹介し、我が国の文化的側面について国際的な理解を得る」という政府の公式出展の目的が十分に達成され、日本とドイツ及び諸外国との友好の架け橋として国際交流の推進に大きく寄与したものと確信いたしております。

本博覧会への日本国政府出展にあたり、準備段階から現在に至るまで、関係各位に多大な御尽力を頂きましたことに対し、心より御礼を申し上げます。

平成16年3月



岩城前 国土交通大臣政務官の視察風景
日本庭園での記念撮影
前列左からお二人目

IGAロストック2003の日本庭園出展

財団法人都市緑化基金 理事長 平野侃三

2003年ロストック国際園芸博覧会（IGAロストック2003）への日本庭園の出展は、当財団での海外の国際園芸博覧会出展業務として、1984年のイギリス リバプールからはじめて5回目のものとなります。

IGAは、ドイツ連邦共和国の国際園芸博覧会として、10年に一度開催されるもので、日本政府が屋外の日本庭園を出展いたしましたのは、今回の「IGAロストック2003」が初めてのものです。また、ドイツ国内においても、ロストック市という人口約20万人の旧東ドイツ領における開催は、統一ドイツ後初めてのものでした。ロストック市では、ロストック独日協会という民間団体が、日本文化の紹介活動などを行っておりますが、本格的な日本庭園や文化の紹介は、今回のIGAにおいてはじめて行われたものです。

出展した日本庭園は、平安時代に創られたという日本最古の物語「竹取物語」を題材にとって庭園のデザインを起こし、約500m²という、限られた空間の中に、雄大な宇宙、月、そして竹という植物材料を使った2つの坪庭様の庭園を展示しました。庭園デザインの中に物語性を秘めることで、単なる庭園美の鑑賞から自然や宇宙といった夢と日本人の心を伝え、日本文化への理解の手助けとしました。

会期中に日本庭園を訪れた方々に行ったアンケートでは、約97%もの方々が出展した日本庭園を「良い」と評価し、この日本庭園を見て、日本文化に対する興味は約82%の方が「わいた」と回答されました。さらに、日本のことをもっと知りたいようになったかの問には、約92%の方が「知りたい」と回答され、今回の日本庭園の出展が、ドイツでの日本や日本文化の紹介と、関心を高めるものとなったと考えています。

このように、今回の日本庭園の出展は、従来の国際園芸博覧会出展に比べても、一層の国際交流、日独の友好に大きな貢献ができたものと自負いたしております。

最後に、今回の出展に際しましては、国土交通省をはじめとする共同出展団体（静岡県、（財）静岡国際園芸博覧会協会、（財）国際花と緑の博覧会記念協会、（社）日本公園緑地協会、（財）公園緑地管理財団）の皆様と、庭園の設計・施工・管理及び出展に伴う行催事の運営に献身的な努力をいただいた皆様、「竹取物語」を紹介するための材料に、江戸時代につくられた「竹取物語絵巻」の写真を快くお貸しいただいた諏訪市博物館、さらに現地のドイツにおいて多大なご協力をいただいた在独日本国大使館や、IGA事務局、ロストック市、ロストック独日協会など多くの関係の皆様へ深い感謝と御礼を申し上げます。

平成16年3月



ジャパンデーでの平野理事長挨拶

IGAロストック2003への日本国出展のお礼

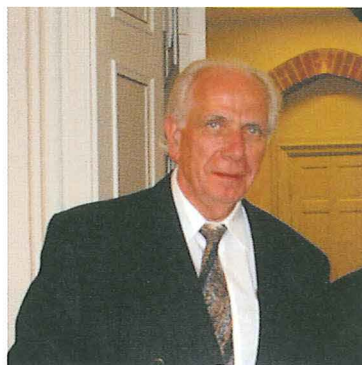
IGAロストック2003有限会社
事務局長 ウィルヘルム・ファックス

ここに私どもは、財団法人都市緑化基金（東京都、日本国）が、ロストック国際園芸博覧会 IGAロストック2003 に大変な成功をもって参加されたことを明記いたします。

出展された日本庭園は、2003年4月25日から10月12日に及ぶ開催期間中、会場を訪れた260万人の人々のために魅力あふれる展示を行い、IGA2003に素晴らしい貢献をされました。

また、財団法人都市緑化基金は、常に素晴らしい印象を示されました。ともに働くことができたのは私どもの喜びとするところです。今後の益々のご発展をお祈り申し上げます。

2003年10月12日



ファックス事務局長

記録写真

季節の日本庭園



春(5月)の日本庭園



初夏(6月)の日本庭園



夏(8月)の日本庭園



秋(10月)の日本庭園

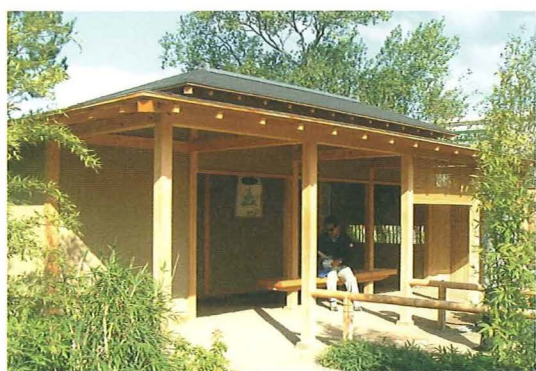
日本庭園点景



観月台での琴の演奏



竹の館からの築山



月の館



月明かりの坪庭



月の館からの坪庭

竹取物語絵巻



絵巻(上) かぐや姫の養育



絵巻(下) 月からの使者の到来



竹取物語絵巻(上)

(竹取物語絵巻上・中・下 諏訪市博物館所蔵)

IGA会場点景



屋内展示



柳の教会



IGAのマスコット
サニーちゃん



海上庭園



自然の保護地

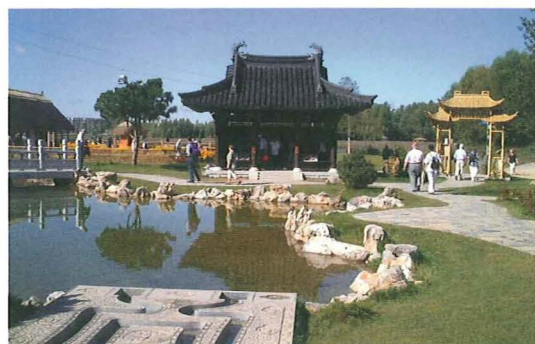
海外出展庭園



「日本賞」のオーストリア庭園



第2位のアラブ首長国連邦庭園



中国庭園



ドイツ庭園

ロストック・ヴァルネミュンデ点景



ロストック市の町並み



ヴァルネミュンデの漁港

開園式風景



日本庭園テープカット

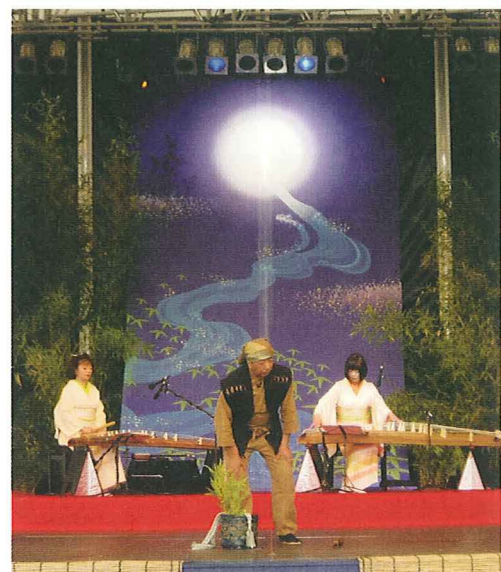


日本庭園視察風景

ジャパNDER風景



岩城国土交通大臣政務官の挨拶

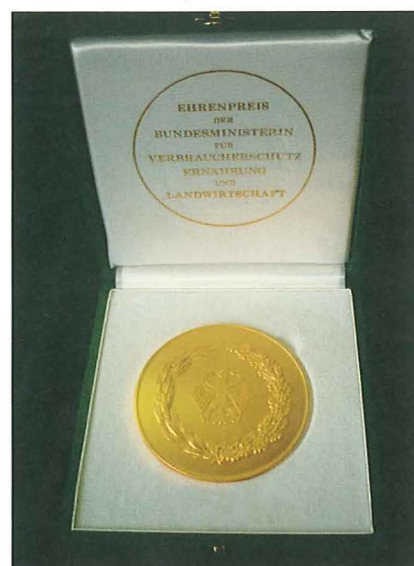


ステージ催事(竹取物語)

国際庭園コンテスト表彰



「金賞」の賞状



「金賞」のメダル (ドイツ連邦消費者保護・食料・農業省)



「金賞」のメダル (IGA)



「金賞」受賞風景 (国土交通省松田審議官)



「日本賞」の授与風景 (オーストリア)

IGA2003の概要

IGA2003の性格

国際博覧会条約に基づく認定博覧会

IGA2003のテーマ

人・自然・水 (Man-Nature-Water)

開催地・会期・及び実施主体

開催地：ドイツ連邦共和国ロストック市

会期：2003年4月25日～10月12日

実施主体：IGAロストック2003有限会社 (IGA Rostock 2003 GmbH)

会場規模

約100ヘクタール

参加国

23カ国

ボリビア、ブルガリア、フィンランド、ギリシャ、ルクセンブルグ、インド、インドネシア、日本、ケニア、ラトビア、モーリタニア、ネパール、オランダ、オーストリア、パキスタン、ポーランド、韓国、スロバキア、スペイン、チュニジア、ハンガリー、アラブ首長国連邦、中華人民共和国

(注：国際庭園出展は韓国を除く22カ国)

入場者数

約260万人

* IGAは、internationale Gartenbau-Austellungの略。
(=International Horticultural Exhibition、国際園芸博覧会)

IGA会場全体図



日本国の参加

参加要請

2001年 9月 在日ドイツ国大使館を通じ、ドイツ連邦共和国首相から内閣総理大臣宛の参加招請を受けた。

現地調査

2002年 3月 2002年4月から開催されるオランダ国ハールレマミアの「フロリアード2002」出展日本庭園の整備状況の確認とあわせて、参加招請のあったIGAロストック2003の現地調査を行った。この時、日本国が出展した場合の屋外出展エリア及び出展候補地（区画）等の状況を確認し、参加準備に備えた。

閣議了解

2002年 6月 国土交通省を幹事省として、閣議了解が行われた。
(今回のIGA出展は、屋外の庭園出展のみとなった。)

参加契約

2002年10月 日本国出展の契約を、日本国政府代表（在ドイツ日本国大使館 八木公使）とIGAロストック2003代表とでサインを交わした。



現地調査時の出展区画 (2002年3月)



出展日本庭園

庭園計画

位置：日本国の出展区画は、IGA会場の東側「国際庭園ゾーン」の南寄りとし、周辺は、北隣にパキスタン、西側（裏）にケニア、南と東側が園路に面した平坦な土地である。

面積：約500m²（約20m×25m）

設計：（株）都市計画研究所



日本庭園出展区画

庭園のテーマ

日本庭園は四季折々の自然美と、庭園の織り成す情景の中に秘められた詩や物語、あるいは宇宙観などの知的体験を得られる空間であることから、今回出展する庭園は、自然や宇宙とのつながりを感じられ、月と竹の物語性をこめたものとした。

—自然や宇宙との共生を語る—
月と竹の物語の坪庭

庭園のモチーフ

古くから東洋の各地に伝わる「月」と「竹」を題材とした物語にモチーフをとった。その物語として、平安時代に形作られた「竹取物語」で、日本人のもつ自然観や宇宙観、命（生命感）を庭園を通して伝えることとした。

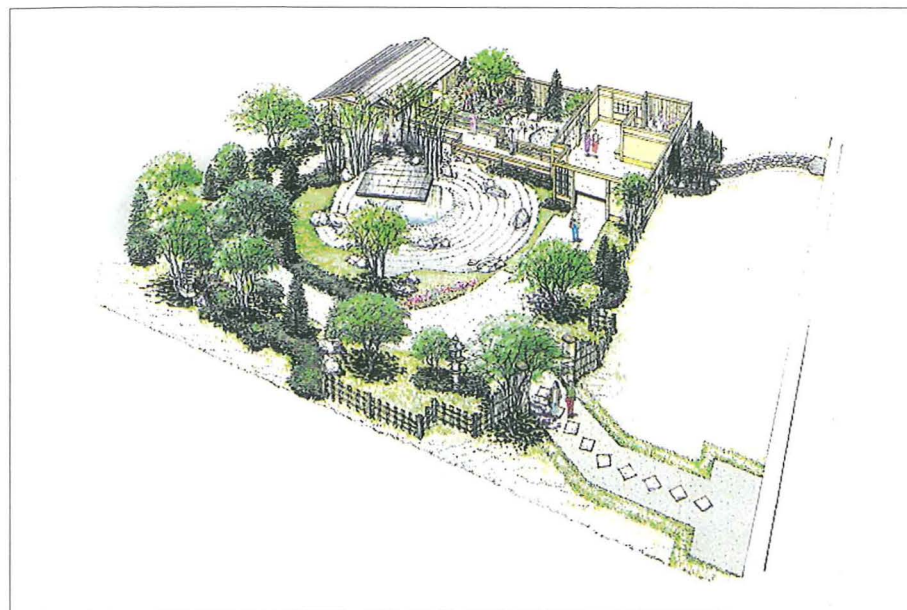
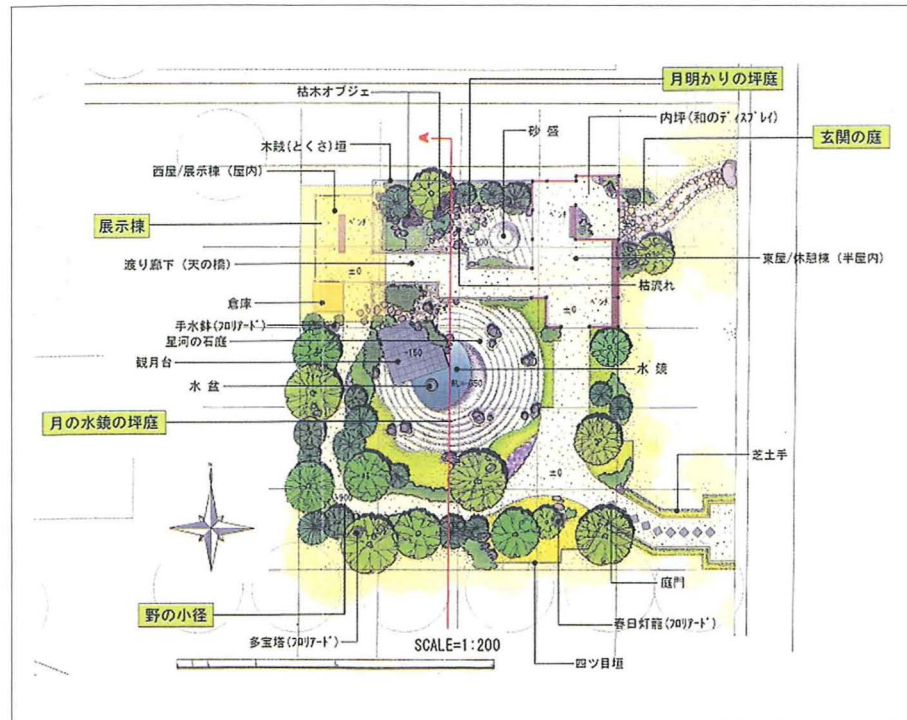
庭園の構成

出展庭園は、大小二つの「坪庭」様の庭園で、主庭となる「月の水鏡の坪庭」と、竹取の翁の家に模した「月の館」と「竹の館」に囲まれた「月明りの坪庭」で構成している。

「月の水鏡の坪庭」は、中央に月の姿を映す「水鏡の池」を設け、その周りを白砂に波紋を施して宇宙の惑星をイメージした石を配したものとし、この池の周りに築山を通る園路を巡らし、休憩屋となる「月の館」を配している。この「月の館」からは竹林を通り池に映る月を見る「観月台」を設けた。

「月明りの坪庭」は、月の館と竹の館をつなぐ渡り廊下「天の橋」で仕切られ、水鏡の池に落ちる水の流れを枯流れで表現し、その源流には月明かりに輝く富士の山ともいえる砂盛を設けている。

計画図



庭園工事

工事経過

- 準備工：2002年12月、2003年1月
使用する植物、その他資材等を
現地で手配
2002年12月
建築物基礎工事
- 造成工：2003年2月
敷地粗造成、暗渠排水、園路基盤
- 建築工：2003年3月
月の館（数奇屋造り）建築
2003年2月～3月
観月台、砂盛、池防水、竹の館、
竹垣
- 園路広場工：2003年3月～4月
石張り、砂利敷き
- 植栽工：2003年3月～4月
高木植栽、中・低木植栽
2003年4月
地被植物、花苗植付
- 設備工：2003年3月～4月
電気、水景設備配管、器具取付
- 仕上工：2003年4月
サイン・ベンチ、その他仕上げ
- 施工：岩城造園(株)



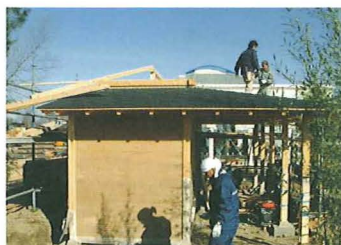
着工前の出展区画



造成工事



池泉工事

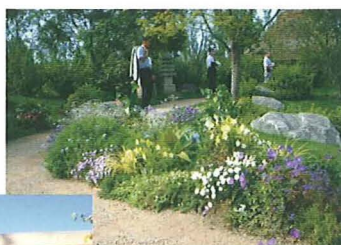


建築工事(月の館)

維持管理

4月25日から10月12日の約半年間の会期中、
灌水、除草等の日常管理は、現地造園会社で
行ったほか、下記の事項を行った。

- 花の植替え：1回目 2003年6月
2回目 8月
3回目 10月
- 生花の装飾：1回目 2003年4月
(竹の館) 2回目 8月
3回目 10月



日本庭園内の花壇



竹の館前の生花

行催事

日本庭園開園式典

2003年4月25日(金)のIGA開会当日に日本庭園の開園式典並びに記念のランチパーティを行った。開園式典は、IGA開会の前の午前11時から、日本庭園にドイツ側のお客様をご招待し、テープカット、庭園内の観月台での琴演奏など、日本庭園のお披露目を行った。この開園式には、日本側から在独日本国大使館 高島大使、日本国政府代表の八木公使、国土交通省の風岡国土交通審議官が、IGAロストック2003公式代表のフランツ・ヨーゼフ・ファイター氏をはじめとするお客様をお迎えした。

ご招待者(敬称略)

IGAロストック2003公式代表

メクレンブルグ・フォーポメルン州文化担当大臣

ロストック市長

BIE会長

AIPH会長

ドイツ造園中央連盟会長

ロストック独日協会会長

フランツ・ヨーゼフ・ファイター

ハンス・ロバート・メテルマン

アルノ・ポエーカー

ジル・ノゲス

ベルント・ベルナー

カール・ツヴェアマン

H・C・クリンクマン



開園挨拶(風岡国土交通審議官)



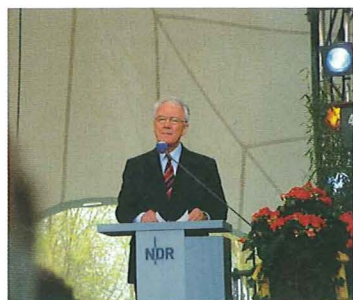
政府代表挨拶(八木公使)



開園式記念写真撮影

開幕

IGAの一般開場は開会当日の12時から行われ、初日の入場者が4~5万人あったとのことである。開幕式典は15時から各国の招待者と一般の入場者を集め、パークステージにおいて、アトラクションと挨拶を交互に交えて行われた。



IGA開幕式典挨拶(ドイツ政府)



IGA開幕式典ステージ

ジャパンデー

ジャパンデー開会式典

8月26日(火)11時から屋内展示場前のワールドステージにおいて、IGAの歓迎式典としてジャパンデー開会式が行われた。日本側からは岩城国土交通大臣政務官をはじめ、在独日本国大使館 高島大使、政府代表 八木公使、共同出展団体の静岡県 鈴木副知事、(財)静岡国際園芸博覧会協会 吉岡会長代理、(財)公園緑地管理財団 北山副理事長、(財)国際花と緑の博覧会記念協会 松島常務理事、(財)都市緑化基金 平野理事長が出席した。

式典は、フランツ・ヨーゼフ・ファイター IGAロストック2003公式代表の歓迎の挨拶に始まり、岩城大臣政務官の日本国出展挨拶、高島大使の挨拶と続き、国歌斉唱・国旗掲揚のあと、日本文化紹介のための舞「古道成寺」を行った。



開会式典

歓迎レセプション (IGA主催昼食会)

ロストック市内のレストラン(ホテル ゾンネ)に場所を移し、IGAが主催する歓迎の昼食会が開かれ、日本とドイツのプレゼント交換を行った。その後、ロストック市役所において、訪問記念のサインを日本側で岩城大臣政務官、高島大使、八木公使が行った。



昼食会

ステージ催事～竹取物語～

IGA会場、パークステージにて16時から、出展した庭園のデザインモチーフとした「竹取物語」を、日本の古典芸能「琴」「尺八」「舞」で表現し、パークステージを埋めた観客の喝采を浴び、庭園のみならずステージ催事を通じて、日本の紹介を行った。(琴：澤千左子・古保里恵子、尺八：三好荒山、舞：古澤侑峯)



開会式ステージ (古道成寺)



ステージ催事 (竹取物語)



ステージ催事に集まった観客



日本庭園での来賓記念撮影

ジャパンデー記念レセプション

ジャパンデー当日の18時からIGA会場・トウンダにて、ドイツ関係者、各国出展者並びに日本からの視察団を交えて、ジャパンデー記念のレセプションを開催した。海外からのお客様60～70名、日本側の出席者60名ほどの100名を越すお客様を集めて、日独、海外各国との交流を深めた。

レセプションでは、岩城大臣政務官の開会のご挨拶に続き、ロストック市長のご挨拶などがあり、日本とドイツの代表10名により、威勢良く鏡開きを行った。その後八木公使の発声で乾杯が行われ、懇談中には2004年に日本で開かれる国際園芸博覧会「浜名湖花博」のプレゼンテーションを（財）静岡国際園芸博覧会協会 吉岡会長代理が行った。



レセプションでの鏡割り



レセプションでのロストック市長挨拶

ジャパンフェスティバル（日本庭園での催事）

8月26日のジャパンデー及び翌27日には、日本庭園において日本文化の紹介や、交流を目的として、尺八の演奏、日本舞踊、琴の演奏、縁日などの各種イベントのほか、ドイツ人の親日家グループによる武道のデモンストレーション（演武）が行われた。

観月台でのパフォーマンス（26日、27日）：

琴・尺八演奏、舞ステージ催事「竹取物語」の演者によるパフォーマンス

縁日（26日、27日）：独楽回し、風船ツリ、剣玉、書道、七夕飾り

オランダ、在独日本人などのボランティアスタッフによる体験型催事

演武（27日）：空手、柔道などの形の模範演技

IGA会場から2時間もかかるブランデンブルグ州ヴェリーツェンから、子どもたちを含めた総勢40名のグループ



観月台での琴演奏



月の館での書道



縁日



ドイツ人親日家グループの演武

閉 幕

4月25日に開幕したIGAロストック2003も、半年間にわたる会期を終了し、10月12日に閉幕した。最終入場者数は約260万人にのぼり、大成功を収めた。閉幕式典は13時からIGA会場パークステージにおいて行われた。日本からは国土交通省 松田審議官、(財)都市緑化基金 大貫専務理事が出席した。その後参加国、参加者が集まった閉幕のレセプションが、パーティーホール (ル・トゥンダ) で行われた。



IGA閉幕式典

行催事運営：(株)ジェイコム

閉幕後の庭園

半年間のIGA展示後の日本庭園は、ロストック市並びにロストック独日協会の強い要望を受け、IGA会期後も出展場所に残すこととした。ロストック独日協会は、日本の文化、芸能等を紹介する活動を行っており、今回、市に寄贈した日本庭園を使い、これらの活動をさらに活発にしていくとのことである。日本庭園が日本とドイツの交流と友好に、今後も役立っていくものと思われる。

市への寄贈は、IGA閉幕の翌日13日にポエーカー ロストック市長と大貫(財)都市緑化基金専務理事との間で、受け渡しに関する文書の交換を行い、市への寄贈を完了した。

ロストック市が今後出展した日本庭園を維持管理していくにあたり、管理を容易に、また半年間の展示による汚れや痛みへの対処、さらに日本庭園としての落ち着きを一層出すための植栽の補植などの補修工事を行った。あわせて記念のプレートを竹の館に設置した。また、この補修期間中にIGA並びに市の管理技術者等を対象に、植栽の剪定や、竹垣の結束などの技術講習も行うとともに、維持管理マニュアルを市に手渡し、出来る限り良好な状態で日本庭園が維持管理されるよう申し入れた。



庭園寄贈文書の交換



庭園補修工事

庭園の解説

展示解説

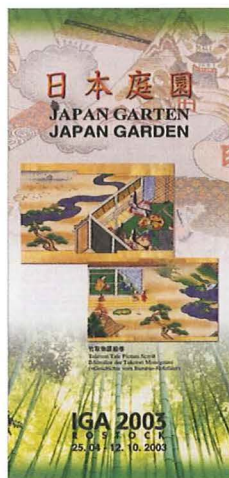
今回出展した日本庭園では、竹の館内の壁面1面を利用し、出展庭園の計画意図と、庭園デザインのモチーフとした「竹取物語」を独・英・日の3ヶ国語で紹介したパネルを掲示した。このパネルには、「竹取物語」を説明するために、諏訪市博物館が所蔵する「竹取物語絵巻」（全3巻、元禄年間（1688年～1703年）までの作といわれている）から3点の絵を借用し、日本の文化の一端を紹介した。



竹取物語、庭園解説パネル

解説パンフレット・解説板

解説のパネルのほか約3万部のパンフレットを印刷し、会期中の週末を中心に日本庭園来園者に配布した。また、日本庭園の庭門前（入り口）には、庭園の平面図を載せた解説板を設置し、庭園のゾーンごとの説明を加えた。



展示解説パンフレット



庭園解説板

国際庭園コンテスト

IGAロストック2003には22の海外庭園が出展され、会期中3回の国際審査団によるコンテストの評価が行われた。その中で、日本庭園は最高得点を獲得し、「金賞」を受賞した。表彰式はIGA閉幕式に先立ち、IGA会場内の屋内展示場において10月12日の午前中に行われた。金賞の受賞は、国土交通省の松田審議官が、賞状とメダルを受けた。

また、IGA事務局からの要請で、「日本賞」を出すこととなり、国際審査団が選んだオーストリアに、松田審議官から記念品の「押し絵羽子板」を贈呈した。



コンテスト表彰式会場



金賞のメダル

国際庭園コンテスト参加国一覧

ブルガリア	スロバキア
ボリビア	スペイン
中華人民共和国	チュニジア
フィンランド	ギリシャ
インド	インドネシア
ケニア	日本
ルクセンブルグ	ラトビア
モーリタニア	ネパール
オランダ	ポーランド
オーストリア	ハンガリー
パキスタン	アラブ首長国連邦

評価得点上位6カ国

1位	日本	8.9点
2位	アラブ首長国連邦	8.4点
3位	ギリシャ	8.1点
4位	オランダ	7.9点
4位	中華人民共和国	7.9点
6位	インドネシア	7.8点



賞を受ける国土交通省松田審議官



受賞者記念写真

ロストック市長からのお礼

ハンザ都市ロストック市は、大きな喜びを持って、貴殿の友好的かつ価値ある次の寄贈品を受領いたします。

IGA2003 “日本庭園”

ドイツおよび海外の来場者は、大きな興味を持って貴殿の庭園を訪れ、その歴史的かつ傑出した日本庭園建築に強い印象をかき立てられました。
私どもは、この日本からの寄贈品を将来にわたって保存する機会を得たことを大変嬉しく思っております。貴殿の日本庭園は、私たちの平和的な相互理解と友好を示す特別なシンボルとなり、2003年4月から10月まで開催された国際園芸博覧会で私たちが共有した素晴らしい日々を思い起こさせてくれるでしょう。
ハンザ都市ロストック市は、未来の“ヴァルノー公園(Warnow-Park)”を訪れる全ての人々の喜びとなるこの寄贈日本庭園に対し、適切に管理を行うことを保証いたします。
ありがとうございました。

心をこめて

2003年10月13日

ハンザ都市 ロストック市長 アルノー・ポエーカー

ホームページでの紹介

IGA会期前から、当財団ホームページ (<http://www.urban-green.or.jp/>) 上に、「IGA ロストック2003日本庭園出展」のページを設け、出展内容や出展団体等の紹介を行うとともに、会期中は、日本庭園開園式やジャパンデー行催事の模様などを写真入で紹介した。



ホームページ1



ホームページ2

日本国出展の効果

日本国の出展並びに出展日本庭園に対する一般来場者の評判等を知るために、会期中の8月から9月にかけて約100人の日本庭園来園者に対しアンケート調査を実施した。

調査時期 8月6日～9月20日の間の任意の7日間

調査方法 無作為に抽出した来園者への聞き取り又は記入（回答の選択）

調査数 122件

属性 国 別：ドイツ 105件、欧米（近隣諸国等）8件、日本 4件、不明 5件

性 別：男 46件、女 64件

年 代：10代以下 7件、20～30代 37件、40～50代 40件、

60代以上 35件、不明 3件

質 問 項 目		全体集計	
		回答数	%
質問1 日本庭園の印象		122	100.00
	とても良い	71	58.20
	良い	47	38.52
	あまり良くない	3	2.46
	良くない	1	0.82
	どちらとも	0	0.00
質問2 日本庭園を見たことの経験		121	100.00
	ある	65	53.72
	ない	56	46.28
	N・A	1	
質問3 日本文化への興味		119	100.00
	わいた	97	81.51
	わからない	9	7.56
	どちらとも	13	10.92
	N・A	3	
質問4 日本をもっと知りたい		119	100.00
	思う	110	92.44
	思わない	4	3.36
	わからない	5	4.20
	N・A	3	
質問5 浜名湖花博へ行きたい		120	100.00
	思う	88	73.33
	思わない	15	12.50
	わからない	17	14.17
	N・A	2	

日本庭園出展の経緯

2000年	9月	ドイツ連邦共和国首相からの参加要請
2001年	5月	IGA ROSTOCK 2003 説明会(在ドイツ日本国大使館対応)
2002年	6月	閣議了解(21日)/海外日本庭園委員会(出展庭園計画等検討)
	10月	日本国出展契約締結(日本国政府代表:在ドイツ日本国大使館 八木公使)
	11月	出展国代表会議(ロストック)/第1回出展委員会開催(出展体制、庭園計画検討等)
	12月	庭園整備現地調達資材手配/建築基礎工事/建築資材国内加工
2003年	1月	建築資材等日本から船出し(月の館、竹の館等)
	2月	建築資材等ドイツに到着/現地工事着工
	3月	出展計画書をIGAへ提出
	4月	出展国代表会議(ロストック)/第2回出展委員会開催(会期中行催事計画等検討)
		IGAロストック2003開幕(25日)/日本庭園開園式
	8月	ジャパンデー(26日)/ジャパンフェスティバル(27日)
	10月	IGAロストック2003閉幕(12日)/国際庭園コンテスト表彰式
		ロストック市への庭園寄贈(13日)

事業収支

(単位:千円)

項 目	予 算	決 算	差 額	備 考
【収入】				
国	109,000	109,000	0	委託費
静岡県・(財)静岡国際園芸博覧会協会	10,000	10,000	0	負担金
(社)日本公園緑地協会	5,000	5,000	0	負担金
(財)公園緑地管理財団	5,000	5,000	0	負担金
(財)国際花と緑の博覧会記念協会	5,000	5,000	0	負担金
(財)都市緑化基金	2,000	2,000	0	負担金
収入合計	136,000	136,000		
【支出】				
調査設計費	5,400	5,400	0	計画策定・設計監理
出展庭園費	59,500	59,511	11	現地施工一式及び庭園維持管理・補修 庭園内の花飾り等維持管理、IGA負担金
行催事費	36,000	36,600	600	開会式、ジャパンデー催事のみ実施短期常駐要員等の派遣
業務管理費	35,100	34,489	-611	出展準備、出展作業統括業務等翻訳、通信等
支出合計	136,000	136,600	0	
収支差額	0	136,000	0	

IGA ROSTOCK 2003 日本庭園出展委員会

今回のIGAへの出展は、日本国政府として国土交通省を中心に、静岡県・(財)静岡国際園芸博覧会協会を共同出展者、(財)国際花と緑の博覧会記念協会、(社)日本公園緑地協会、(財)公園緑地管理財団並びに(財)都市緑化基金を出展協力者として、「IGA ROSTOCK 2003 日本庭園出展委員会」を構成して行った。

委員会委員

＜委員長＞	大貫誠二	(財)都市緑化基金専務理事
＜委員＞	上島晃嗣	国土交通省都市・地域整備局 公園緑地課緑地環境推進室室長
(平成15年3月まで)	末永鍊司	
	稲葉建雄	静岡県企画部国際園芸博統括監
(平成15年3月まで)	平野 茂	
	東 諱	(財)国際花と緑の博覧会記念協会専務理事
	村松靖則	(財)静岡国際園芸博覧会協会専務理事
	丸田良則	(社)日本公園緑地協会事務局長
	前田 博	(財)公園緑地管理財団調査部長

会議の開催経過

第1回委員会 2002年11月28日
委員会設立準備会
報告(経緯、IGAロストック2003の概要)
議事(委員会会則及び委員の構成、役員の選任)
委員会
議事(出展庭園計画、執行体制、会期後の処置、催事・運営及び維持管理方針、事業費、今後の予定)

第2回委員会 2003年4月15日
報告(経緯、庭園の整備状況、ホームページ)
議事(会則の変更、維持管理計画、行催事計画、運営・展示・接遇等、事業予算(修正)、今後の予定)

第3回委員会 2004年3月(予定)
報告(経緯、会期中の行催事等)
議事(事業費決算、会の解散)

IGA ROSTOCK 2003
2003年ロストック国際園芸博覧会
日本国出展日本庭園報告書



発行 平成16年3月
財団法人 都市緑化基金
〒102-0083
東京都千代田区麹町1-6 相互麹町第2ビル8階
TEL 03-5275-2291 (代)

IGA 2003
R O S T O C K